護持　第1483号　2024年1月号

護持

護持（月刊）
発行所
本派本願寺
ハワイ別院
1727 Pali Highway,
Honolulu, HI 96813
Tel: (808) 536-7044
Webpage:
hawaiibetsuin.org

年頭の辞

新しい年のはじめにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年も世界各地で地震や洪水、山火事など様々な災害が起こり、多くの方が被災されました。災害によってお亡くなりになられたすべての方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆さまが一日も早く、日常の生活を取り戻されますことを願っております。

また、２０２２年２月に始まったロシア連邦によるウクライナ侵攻はいまだに続いており、２０２３年１０月以来の中東における武力衝突でも多くの犠牲者が出ています。私たちは仏教徒として、「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ。」（『ダンマパダ』第129偈）というお釈迦様のお言葉を大切にいたしましょう。

この世に生を受けた私たちは、いかなる理由があろうとも等しく人権が保障され、命が脅かされるようなことがあってはなりません。しかし、現実には世界各地で紛争やテロが勃発し、また貧困や政治的・宗教的な対立により、生存の権利が脅かされている人々が数多くおられます。平和主義を掲げる仏教徒であり念仏者である私たちは、お釈迦様のお言葉を深く心に刻み、世の安穏を願われた親鸞聖人のお心を体して、国際社会の平和と安全に大きく貢献することが求められています。

浄土真宗のみ教えをいただく私たちは、阿弥陀さまのおはたらきによって、自分自身の真実の姿を知らされます。それは、自身の思いや欲望にとらわれ、お釈迦様が明らかにされた諸行無常や諸法無我といったこの世界の真実を、そのままに受け入れることができずに悩み苦しむ凡夫の姿です。

しかし、そのような私を救いの目当てとして阿弥陀様ははたらき続けて下さっています。私たちは等しく阿弥陀様から願われた者同士、互いに敬い合い助け合って、困難な社会の課題にも果敢に取り組んでいくことができます。本年も、阿弥陀さまのおはたらきを聞き、仏教徒として一日一日を大切に歩んでまいりましょう。

２０２５年１月１日

浄土真宗本願寺派
門主　大谷光淳